大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

夕刊

新京日日新聞

定價 一ヶ月 金一圓八十錢 / 郵税 一ヶ月 金三十五錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所 新京日日新聞社
電話 二〇〇三・三五二三番
發行人 十河榮忠
編輯人 松本男
印刷人 谷啓二

地方農民に對し中央銀行が融資か
農工銀行の出來るまでの間暫定的辦法として

現在滿洲に於ける農村は北滿の水害、匪賊の横行等により非常に疲弊し、各村落とも

＝生色＝ がない、之が救濟方法として農民金融組合を設立する事は既報の如くであるが、之に伴ひ農工銀行を設置し專ら農民金融を行はしめんと云ふ議起り、目下審議中であるが併し到底本年の植付までには間に合はず、恐らく

＝本年＝ は中央銀行より直接に融資されるものと見られてゐる、右につき田中理財司長は語る

農工銀行設置は焦眉の急務であるが、しかしながら問題は金で農工銀行の株に利潤の少いものに内地よりの投資は到底望めない、從て政府で半分位の株を引受け當初より幾分でも配當する様にしたいと思ふ、未だ具體的には定まつてゐないが、今秋十月か十一月始迄には是非作らねばならぬ

中銀流通狀態

新京取引所が調査せる昨年末までの中央銀行發行紙幣流通狀態及び相場は左の通りである

△發行高
國幣　一三六、一七〇　一三六、〇〇〇圓
舊紙幣　八三、六〇七　八二五、八〇七
總計　二三一、八〇五、三〇〇　八〇七

△國幣對舊紙幣相場（國幣一圓に付）
官銀號券　一圓
邊業銀行券　一圓
奉天票　五〇圓
哈大洋　一圓廿五錢

滿洲國徴税成績

滿洲國内に於ては熱河省を除く大部分の討匪行動一段落と共に政治工作、宣傳工作の結果、治安は回復し、從て租税の徴收狀況も著しく順調となり昨年七、八、九、十月の北滿の水害、匪賊の横行等で未徴收のものも漸次徴收され、大體財政部税務司の豫算通りに進行してゐる、現在の徴收狀況は次の如くである

	吉林官帖	五〇〇吊	一圓三〇錢
吉林大洋	小洋	五〇圓	
黒龍江官帖		一、六〇〇吊	
同	太洋		一圓四〇錢

	豫算	徴收額（單位萬圓）
關税	四、〇〇〇	二、五〇〇
鹽税	一、七〇〇	八〇〇
一般内國税	二、八〇〇	一、〇〇〇
合計	八、五〇〇	四、三〇〇

國税々率を統一

滿洲國財政部では各省ごとに區々たる國税率の統一整理を企劃調査を進め、近く各省の税率を一定の上徴税機關の擴充を期し、黒省北境並びに討匪完了後の熱河省の徴税機關設置に關し調査研究を進めて居る

大豆	一三六、三一八
高粱	九七、三七〇
玉蜀黍	一一、七二五
粟	三四、二二〇
豆油	二二〇
豆粕	五四三
雜穀	三、一三三
木材	三、二〇五
其他	三、一二、三七一
合計	六一二
	三三七、四九八

これを前年同期に比すれば約

七萬八千噸前年同期に比し約三萬噸の増加を示してゐる

鐘紡淀川工場擴張計畫

【東京二十三日發國通】鐘紡の株主總會は本日午前十時日本橋クラブに開會され津田社長は左の如き演説をなし配當年二割五分据置を決定した、社長の演説要旨左の如し

滿洲事變後は南洋、印度の市場を開拓し全力をもつてしても足りない狀態だ、淀川工場擴張の計畫は本年末には月産百萬反の生産力となる豫定だ

簡易保險の大募集に着手
新京局が二月一日から一ヶ月に渉り

新京郵便局では來る二月一日から約一ヶ月當局員總動員で簡易保險の勸誘を大々的に行ふさ、なほ現在の募集高は左の通りである

成人保險　一萬七百五十九口　二百二十九萬一千一百五圓五十錢
小人保險　一千二百八十八口　二十萬五千百二十圓

四平街公會堂建設設計

學校教室に於て四平街公會堂建設設計に關する協議會は開催されたが山添公會堂建設明成會長より司會の辭あり協議會を開き豫ねて滿鐵本社にて設計中の公會堂設計書此程當地方事務所長へ送附越されたるを、愼重審議舞台に通ずる花道延長約二間のものを増すの件を加ふるの外萬場一致宗該設計の決定をみた

尚ほ公會堂設計圖による大體をあぐれば總工費金三萬七千圓備品費二千圓にして舞台二十五坪控室十二坪ホテル七十一坪

（集會の場合六百人宴會四百人を收容し得）食堂十六坪收容力五十人調理室六坪五合談話室九坪事務室四坪娯樂室番人室等計廿九坪小便所八ヶ所大便所六ヶ所合計約二百二十坪

階上は觀覽席及映寫室で約五十三坪となつて居りホールの勾配は二十四分の一で丁度一間に一尺と云ふ數字である以上の大公會堂は遲くも今秋十月一ぱいには竣成をみることゝなつて居る

中銀引繼資産
査定委員會注目さる
三千萬圓の政府補塡を希望

滿洲國財政部では二月中に開催される中央銀行總會を前に同行の引繼資産の査定委員會を開催、昨年六月末現在四億一千九百萬圓に上る同行資産中引繼附業その他不良貸付金の整理を行ひ不足額を政府に於いて保證する事となつたが中銀側では附業並びに他項放資一億二千二百六十萬圓に對し、八割程度の査定を强硬に主張し、二千萬圓の政府補塡を希望して居り、財政部當局との間に相當開きがあり、中銀資産査定委員會の結果は中銀の將來に重大なる影響を與へるものとして各方面の注目をひいて居る

院内在貨
増加の一途

新京鐵道事務所管内主要地の荷主院内在貨は農家の手持不安と相場高並に出廻り擁護裝甲自動車の活動により増加の一途を辿つてゐるが二十日現在の調査によれば左の如きものである

鐵嶺	一七、二六四
開原	七六、一四一
昌圖	四、〇二〇
双廟子	七、三〇〇
四平街	六八、四六九
郭家店	一一、四六〇
公主嶺	七四、〇二八
范家屯	二三、四八五
新京	四五、三四九
合計	三二七、四八八

膠濟鐵道沿線活況

【青島廿四日發國通】非公式發表によれば膠濟鐵道昨年度の總收入は一千五百三十八萬四千六百四十七元で純利益百四十五萬餘元に達し回收以來の最高レコードを示して居る

これが原因は山東省は排日を行はないので、對日輸出入が激成んで其の結果鐵道收入が激増せるもので此の好況を知つた排日で苦しんでゐる上海、天津等の支那商人が當地に店舗を開くもの多く市面は日一日と活況を呈し濟南及山東省各地も同樣近來にない好景氣振りである

四平街の公會堂

（四平街支局發）二十三日午後一時から小學校階上家政女

十二月末迄の稅捐局統制狀況

滿洲國の基礎益々確立し民心の信頼も亦深くなりつゝあるが、昨年十二月末までの税捐局統制狀況の變化を見るさ、愈よその實狀を確信するに足る、即ち次の如くである

分區	月別	奉天	吉林	濱江	龍江	合計
甲	九月末	七	九	六	七	[illegible]
	十月末	[illegible]	一七	八	八	[illegible]
	十一月末	[illegible]	一七	八	一〇	[illegible]
	十二月末	[illegible]	[illegible]	八	一〇	[illegible]
乙	九月末	二	[illegible]	二	一〇	[illegible]
	十月末	[illegible]	[illegible]	二	[illegible]	[illegible]
	十一月末	九	一〇	二	[illegible]	[illegible]
	十二月末	五	一	二	[illegible]	[illegible]
丙	九月末	[illegible]	[illegible]	一	[illegible]	[illegible]
	十月末	[illegible]	[illegible]	一	[illegible]	[illegible]
	十一月末	[illegible]	[illegible]	一	[illegible]	[illegible]
	十二月末	[illegible]	[illegible]	一	[illegible]	[illegible]
計	九月末	[illegible]	[illegible]	一〇	[illegible]	[illegible]

十月末、十一月末、十二月末日現在の税捐局統制狀況を基礎にして其の徴税比額の高を見るに

甲に屬するもの　一三、三六〇千圓
乙同　二、一五三圓
丙同　一、三五三圓
計　一六、九五〇圓

にして甲に屬するものは總額に對し八六％乙に屬するもの九％丙に屬するもの五％にして甲及乙を完全に統制し得れば九五％の收入は完全に之を舉げ得る見込である

なほ甲は毎月の徴收税額を正確に送金し監督署に於て完全に統制得る税捐局

乙は毎月の送金は正確ならざるも兎角徴收事務を取扱ひ居る税捐局

丙は消息全く不明の税捐局

奉天税務監督署管内にて甲に屬する税捐局は

奉天、營口、安東、通遼、遼陽、海城、蓋平、復縣、撫順、錦縣、開原、鐵嶺、昌圖、西安、復蓋、北義、洮突、梨樹、海城、新遼、西豐、莊岫、新濱、綏與、本溪、黒山、開原、洮安鎭、盤臺、通化、東豐、遼源、輯安、鳳城、彰康、乙に屬するもの長白、丙に屬するもの

吉林税務監督署管内にて甲に屬する税捐局は、吉林、長春、下九台、吉林、木税、德惠、樺川、延吉、汪清、扶餘、石城、楡樹、農安、一城、舒蘭、敦化、蛟河、富錦、郎春、和龍、鳥拉、依蘭、長嶺、方正、に屬するもの樺甸、寶縣、五常、雙陽、盤石

丙に屬するもの、穆稜、伊通、密山、寧安、延壽、濛江、尼嗚口、寶淸、東寧、勃利、同江縣衆、饒河縣衆、撫遠縣衆、乾安縣衆

濱江税務監督署管内にて甲に屬する税捐局は哈爾賓、木石、濱江、双城、呼蘭、甜草崗、松浦、阿城、に屬する蘭西、肇東

四、龍江税務監督署管内にて甲に屬する税捐局は、龍江、拜泉、克山、綏化、望奎、泰來、訥河、林泰、泰安

乙に屬するもの安達、綏濱、布西、慶城、綏稜、寧年站、明水、依安、青崗、肇州、大賚、雅魯、木蘭、通河、巴彦、茂興

丙に屬するもの克東、甘南、湯原、呼倫、嫩江、訥北、景星、黒河、龍鎭、東興、鳳山、富裕、索倫、遜河、奇乾、呼瑪縣、漠河縣衆、烏雲縣衆、同、鷗浦縣衆同、克縣衆同、羅北縣衆同、佛山縣衆同

建材商組合臨時總會

長春建材商組合では二十三日午後四時から青葉において臨時總會を開き左の諸項を決定同五時半散會引續き懇親會に移り同九時すぎ盛會裡に懇親會を閉じた

一、新加入者報告の件
合資會社加藤洋行支店、合資會社三益公司、本田商會出張所

一、本年度組合事業に關する件
イ、取引上に關する申合せ
ロ、不良業組に對する組合の態度決議
ハ、某組に對する交渉經過報告

一、組合員正業に對し不合理なる壓迫損害、權利を擁護すること

一、規則改正

怪人凱歌（百二十八）
（禁上演・映畫化）須藤鐘一 作（畫）瀧秋方

常春壇（十）

『それ、どうしてシラッユムスピアエズ、ムザンノヨアラシさすか』と米國人は、やはりまだ疑惑が呑みこめぬらしい。

『つまり、白鷺は令孃のシンボルであり、夜あらしは暴漢のシンボルであるとして考へるんだね。暴漢の爲めに、令孃が美しき姿を保ち得るといふ文章の意味なのさ』

と、日本人は説明に努める。

『分りました』と米國人はうなづき『ネキスト、ジョウカイ、タマヲアラソウ、コウリウ……』といふのは何です？』と、更に聞ひかける。醉ひが大分まはつたらしく顏を赤らめ、聲も次第に大きくなるので、あたりの人々がジロ〳〵とこちらを見るのであつた。

『さア、むづかしいな』

日本人の方も醉つて來たので、益々説明に行きづまり、暫らく頭をひねつてゐたが。

『……つまり之れも東洋流の遊戲なのさ。情緒はパッショネートとでもいふのかな。──實はね、此の裏手に十疊敷くらゐの大風呂場が出來たので其の中へ會員全體が素ッ裸になつて飛び込んで混浴をする。

さうすると、何處ともなく微妙な音樂が聞えて來る。湯ぶねの人々は、最初のうち、恍惚として其の樂の音に聞きとれてゐるが、いつしか皆んなが浮かれ出して、遂へず手を取あつて舞踏を始める。脚にもつれる湯水をバシャ〳〵と跳ね飛ばしつゝ盛んに踊る。音樂は愈々冴え、益々激して來る。一同もそれに引きこまれて、だん〳〵感興が高潮し、遂には狂つたやうになつて、所謂手の舞ひ足の踏むところを知らなくなり、亂舞狂踊の果ては、それ〴〵自分の相手の異性と相擁して、愈々伍位引きあげて別室に退く。

所が、こゝで男性の間に美しき女性を自分の手に收める爲めに、烈しい爭鬪が演ぜられる、といふ段取なのだ。ドラゴンは即ち男性、玉は美しき女性をシンボライズした言葉なんだ。分つて？』と、日本人はやつとむづかしい説明を終つた。

『ほう、それ非常に奇抜です。わたくしドラゴンになれますか？』

と、米國人は熱心に尋ねる。

『勿論、會員はみなドラゴンとなつて玉を爭ふ資格をもつてるのです』

『ありがたい。早く始まる、よろしい』

二人が夢中に話してゐる時、ジーン〳〵とベルが鳴り出した。ちやうど芝居の開幕を知らせるやうな音である。常春會の特別催しの第一が、將に始まらうとするのである。

會員は酒場やビリヤードから、ぞろ〳〵と一間幅の大階段を二階へと昇つて行くのだつた。

二階の廣間は、活動寫眞の映寫場になつてゐた。會員は思ひ〳〵の位置に席をとつた。その數が凡そ三十人ばかりで、婦人は十人内外と思はれた。

やがて場内は暗くなつて、映寫幕に、蒼白い四方形が映り、さらさらと粉雪の降るやうな機械の音がすると共に、眼前には新郎新婦の花恥しき顏の大寫しがあらはれた。

一同は、しんとして、かた唾を呑んだ。ヒルムは進展して、奇怪な光景が現出する。會員の好奇に輝く眼は、全くヒルムに吸ひこまれたやう。

『樂しき恐怖』
『双蝶一輪の花に……』
『許してください』
『夢結び纏し』
『あらしの夜』

こんな風の字幕が時々現はれるだけで、辯士の説明はつかなかつた。それが却て妄想を亂さず、それ〴〵に恣な空想を樂しむことが出來るらしかつた。

一同は息を殺し、いはぶき一つするものもない。たゞ嘆息の音が時折微に聞えるばかり。

三十分餘にして『人生の春』の第一卷は終つた。少憩の後、第二卷が始まつた。

プログラムは後つて、夜は次第に更けて行く。次は、『露結びあへず、むざんの……』實演である。

聯盟改めずんば断然聯盟を脱退す
泣きついて事情をいへば我代表引揚で許す
帝國の覺悟や固し

【東京廿五日發國通】聯盟に於ける形勢重大化に鑑み政府は特に廿五日午前十一時より院内に臨時閣議を開き帝國政府最後の決意につき愼重協議し直ちに帝國代表部宛回訓することゝなつた、同日の閣議席上にて内田外相より聯盟十九ケ國委員會が第十五條第四項の妥協勸告手續に入るに至りたる次第を報告今後に對する帝國政府の取るべき態度に對し外務省の原案として帝國政府の對聯盟政策は昨年三月犬養内閣に於て決定せる既定方針を踏襲するも尚現在の客觀的情勢から次の二點を考慮すべし

一、即ち聯盟が若し滿洲事件に對する日本の行動に對し聯盟規約、不戰條約、九國條約侵犯なりとし他國の領土侵略なりとの審判を下すか或は滿洲問題を自ら解決せんとして乘出すか更に又勸告文に於てリツトン報告書を全部的に採用し滿洲國獨立を否定する際には斷乎聯盟脱退を敢行すべし

一、聯盟側に於て我國の聯盟内に留まるを必要とし、此點を考慮に入れて勸告文を作製せる事情明瞭なる時には單に首席代表の引揚げのみを行ひ、聯盟に於ける他の一般事業に協力を與ふべし

右方針を附議其の承認を求むる筈である

第四項反對の我が宣言書起草

【東京廿五日發國通】外務省では第十五條第四項による聯盟の勸告報告書が聯盟總會に出された場合の反對宣言を亞細亞局に起草させるがお内容は

一、滿洲國の獨立とその發達が極東平和を確保すること

一、滿洲國承認は國際條約に背反せず且之が成長を援助する事は先進諸國の國際的義務なる事

一、帝國政府は議定書の精神に準據し滿洲國の發達を援け、國際政局擾制に任ずる自覺ある事を力說し、聯盟を離れ、極東主義に邁進すべき、帝國の意氣を明示し滿洲國獨立の既成事實に背反する樣な勸告は帝國政府は受諾し得ず、聯盟の勸告すべきは支那であつて、リツトン報告書第九章にある十原則により支那に鞏固な中央政府を組織すべく、之が爲に國際協力を必要とするなら、勸告もしてこそ聯盟としての至當な措置だと謂ひ得る

松岡全權 腰を落付つ

【ジユネーブ廿三日發國通】松岡全權の秘書小林代議士は松岡全權の用務を帶びて二十四日ジユネーブ發米國經由で歸國に決定した二月下旬着京の筈であるが、松岡全權、腰を据えて折衝に最善を盡す覺悟を決めて居り、歸國の際は米國經由で期日は三月末か四月末か全然豫定されて居ない

サイモン外相が着壽しても好轉すまい

【東京廿五日發國通】サイモン外相は我が松平代表と廿五日壽府に歸り來るが、其上で十九個國委員會が好轉せらぬかとの觀測に對し外務當局は十中八九は望みなく、唯此上は第四項による勸告案と勸告内容が緩和される程度であらうと堅く決意を固めてゐる

鄭總理から壽府我代表に感謝文

【新京廿五日發國通】昨廿四日滿洲國政府は鄭國務總理、謝外交總長の名に於て在ジユネーブの日本代表部長岡、松岡、佐藤各代表並びに建川中將宛てかの深謝文を打電した連日の御奮闘により我滿洲國獨立の大義闡明せられつゝあるを深謝す我國政府及人民は會議の向背如何に拘はらず一意國力の充實に邁進し、東亞の和平確立に寄與せんとする牢固たる決心を有す、幸に諒承ありたし

聯盟は解消か
將歐洲聯盟に轉換か
馬脚を露はした聯盟の動向を究めやう！

聯盟解消か否聯盟は其最後線の存在たる歐洲聯盟として殘存したいか、今や聯盟は東洋問題に直面して全くその無能を世界に暴露してしまつた、聯盟は何故かかる馬脚を露らはしたか、問題に關心を持つ人々は一應聯盟の動向を究める必要がある

△

第一に今回の聯盟自身の失敗に關し聯盟は東洋に關する限り最初から無定見で所謂東洋に於ける滿洲問題並びに支那問題に關しその特殊性複雜性を知らなかつたのである東洋の問題を恰も歐洲に存在せる諸小國の國境問題位に考へて出發したのが大過りなのであつた、問題に手をつけて見て始めて驚いた、最初から聯盟に一仕事をさせ樣と仕組んでかゝつた支那は此の間の呼吸を極めて巧妙に例の支那一流の宣傳と侯つて聯盟を操縱した、調査團が來る、世界の輿論が次第に東洋に對して正しく認識する樣になつて來た此處に於て聯盟は又慌て出した

△

即ち世界の輿論は日本の主張と次第に接近して來たからであると同時に支那の叫びは全く無定見な叫びであつた事が次第に聯盟にわかつて來た、と言つて聯盟は今更出發點が惡かつたと言つて日本に對して謝罪する事は其面子の上から出來ない、此處に聯盟第二の失敗があるのである

そして聯盟は過誤を知りつゝ殊更らに横車を押して今日まで來つたのであるが、もう此の時は聯盟は既に解消への一歩を進めて居たのである

△

次に弱肉强食の心理作用にいつも脅威を感じつゝあるのは歐洲に於ける小國である、小國は全く聯盟規約のもとにその生存を保障されて居る樣なものである聯盟が破壞されることは自分等の保證並びに將來の獨立を奪はれる樣なもので小國はどうしても聯盟を立て規約によつて頑張らなければならないのである、一方大國はこの東洋問題を政治的に解決しやうとした然し小國側は到底これに應じられぬ態度いはば自分達の將來が危いからである小國の對立的立場此れを調和出來ぬのが聯盟第三の失敗であつた小國は聯盟によつて各自國の國家的立場を保障する爲實際の處日本に對しては寧ろ脱退を希望して居た

△

大國は日本が脱退すれば聯盟は事實上歐洲聯盟になつてしまひ其力は全く無力になつてしまふ事を知つてゐた、此れでは困る、此處に聯盟の大ヂレンマが起きたのである、其處で色々考へた揚句第十五條三項にある和協勸告を出て見た、聯盟内に於ける小國の對立を聯停出來ぬ聯盟が如何にして此の重大な日、支兩國間の和協が出來樣、果せるかな十九ケ國委員會は和協のサジを投げてしまつた殘るものはたゞ歐洲聯盟としての存在と歐洲小國の保障をしたと言ふに過ぎないのである聯盟が東洋問題を討議して殘つたものは東洋問題とはまるで見當違ひな聯盟をして歐洲機關たらしめることと、聯盟は歐洲の小國を維持するために世界の大問題を失つてしまつたと言ふ二問題に過ぎないとけまさに近代的國際外交劇の珍劇である

△

結局聯盟は聯盟の立場を如何にして維持しやうかといふ事のみを考へ、世界平和を如何にして建設しやうかと考へるにはあまりに無力であつたのである然も此の無力なる機關が今日世界の輿論（殊に東洋の）を無視して殊更に横車を押して行くといふに至つては危險これより過ぐるものはない、東洋問題に定見が無いのなら問題を東洋に委ねるべきである其處には難關なれど期日さへかまはねば可能性がある、日支直接交涉といふ眞理が殘つて居る、世界は聯盟とは反對に東洋問題に關する限り此處に着眼し途を發見せねばならないのである

△

さてそんなら現在のまゝで行けば結論は何處へ行くか、聯盟が敢然勇氣を奮ひ反省し、最後の問題たる日支直接交涉に就し其途を開くべし、何年かゝつてもやるといふ大決意を持たない限り聯盟は西へ、日支は東へ、夫々もと來た道を歩み歸らねばならぬ、そして聯盟は解消するか、歐洲聯盟として存在し東洋問題に關しては別に東洋に利害關係を有する國々による東洋聯盟を組織し、滿洲問題に關する最後の命題日支直接交涉の道を講じねばなるまい

政局の移動に
何等考慮を拂はず
首相、民政黨側に斷言

【東京廿四日發國通】民政黨總務櫻内、富田兩氏は廿四日首相官邸に首相を訪ひ、政府は他黨との連絡に今後拓相が首相の代りに當ることに申合せたが、席上首相は富田氏等の質問に對し議會終了政局の移動といふことに就いて今日迄何等考慮したことはないと斷言した

八田副總裁上京す

【大連廿五日發國通】八田副總裁は昨日晩くまで上京の重要用件たる昭和製鋼所化學工業會社資金問題、鐵道問題等の重要諸件につき在連各理事始め石本、市川兩部長、久留島鞍山製鐵所採礦課長を集め協議を遂げたが二十五日午前九時大連發急行「ハト」で杉本秘書一件朝鮮經由上京した

村上理事明朝來京

【大連二十五日發國通】村上理事は二十五日午後四時三十分穗積技師帶同鐵道問題につき軍部、滿洲國側と打合せの爲め新京に向ふ筈

衆議院本會議
午後一時開會

【東京廿四日發國通】衆議院は午後一時十二分開會、直ちに秘密會議に入り、小山法相から再生共産黨事件、五一五事件、司法省不詳事件に關して貴族院同樣說明報告あり

濱田氏（政友）○○其他にピストルを附與せることゝ明白なり、右翼團體の莫大の資金並びに兇器の出所如何、日本のフアツシヨ失言○○を助長する觀を深からしむ所見如何、小山法相の說明は事務的である我々は政治的意義が聞き度い

小山法相　ピストルの最初の出所は不明である、神戸その他の方面を調査中である次いで資金に就いて答辯したがフアツシヨ問題は答辯を避けた

原氏（民政）尾崎判事犯罪の動機發覺の經路如何坂本司法官試補免職の手續懲罰後直ちに刑事追訴をなさざりし理由如何

小山法相　懲戒免官とする一ケ年半位俸給を拂はねばならぬから依願免官としたのであると簡單に答辯し三時十五分漸く秘密會を終り本會議は直ちに一日休憩、卅分再開、横山一格氏の死去に對し院議を以て弔辭を送る加藤氏（政友）の動議を可決、國務大臣の質議を續行

東武氏（政友）米穀問題、負債整理問題に關し蘊蓄を披歷し政府が農民大衆の利害を離れ大資本に追隨するの非を詰り、農村救濟の急務を叫び農相と質疑應答、五十二分小山法相は秘密會劈頭前日の清瀨氏の質問に對して日本共産黨の沿革、檢擧史を詳細に述べた後、三府四十六縣總計二千五百四十二名の内起訴者百五十九名に達した經過を述べ更に三、一五事件以來昭和七年末迄檢擧された者にして檢事の手にかゝつた者三千九百六十一名であると報告し、次いで五、一五事件其他の報告をなした

再開後の衆議院

【東京廿四日發國通】秘密會で小山法相から共産黨事件で昨日貴族院と同樣の說明あり濱田國松氏、原脩次郎氏から質問あり、小山法相答辯し三時十五分公 直ちに休憩、三時半再開、東武氏は米穀統制法、負債整理法を質問すと前提し米穀政策調査會の答申案項には疑點ある四項目を指摘して

米價公營制度は自由經濟組織から統制經濟に進む過渡辨法とし大變革をなするの故政府は愼重な態度で立案されたいと述べ負債整理案について余は一時的の經濟でなく國家的の見地から農村の滅亡を救はんとするものである政府の所見如何と迫り、更らに肥料國策確立と農村指導の急務を說終つて

後藤農相　登壇　米穀統制案は關係當局の間で未だ成案を得てゐない、負債整理法案は目下大藏省と交涉中で說明までに至つてゐないと答辯した

續いて田子氏は時局匡救、生活安定策に對する政府の無能を責め、社會問題、地方自治問題數項目を質問、山本內相之に答辯したが政友會騷いで聞取れず、代つて中島商相、後藤農相、荒木陸相答辯し、野村嘉六氏思想問題で質問したが空席多く氣勢擧らず

鳩山文相　現在日本で教育家や軍人が自分等だけ良い樣な事を言ひ獨り惡者にして居るが之が惡心を生ずる一因だ、此際諸君の政黨を卑下するやうな事は言はぬやうにして貰ひ度いと述べ滿場拍手裡に午後六時十分散會した

廿六日の兩院議事日程

【東京廿四日發國通】廿五日の議會は貴族院本會議委員會共に休會、廿六日午前本會議を開き衆議院は午後一時本會議を開き劈頭、松岡全權在滿將士に對する感謝激勵の打電を可決後質問を續行、政友會の木幕武太夫第一控室朴春琴政友會宮川一貫、星島二郎、宮澤裕各氏の質問あり、議事に入り左の諸案を上程する

一、昭和八年度一般會計
一、歲出の財源に充つるため公債發行の法律案
一、鐵道敷設法中改正法律案
他二件

昨日の貴族院本會議

【東京廿四日發國通】貴族院本會議は午前十時二十五分開會され事議進行の發言を求め大河內照耕子は五、一五事件に陸海軍の關係者があるやうだが說明を聞きたいと質し荒木陸相は未だ詳細に申上る時期でないが悔悟して居ると答へ、大角海相は關係者は心から改心して懺悔錄を提出して居るがその一節に、吾世を誤てり、と記してゐると讀み上げた、紀俊秀男は齋藤總理は議會直前兩黨總裁を訪問したが如何なる理由か、國民は明るい政治を考へまいと急所を突いた後、財政の將來を憂慮の思想對策を質問した、齋藤總理は閣員を出して居る禮を述べるため訪問したのみと突つぱね髙橋藏相は樂觀論を一くさりなし、鳩山文相は映畫による敎育對策を述べた十二時二十五分散會

米巡洋戰隊を太平洋に常駐
果して何を語るもの

【サンペトロ二十四日發國通】年次海軍大演習參加の爲め大西洋偵察艦隊の一部がハワイに向け太平洋岸根據地を出發すると同時に米國合同艦隊司令官レイチトク氏は新に巡洋戰隊をサンペトロに常駐的に碇泊せしむるに決定し、說明して曰く

米國大西洋艦隊の中七隻の六吋砲巡洋艦より成る第二巡洋戰隊の一部として今後サンペトロに常駐せしむる結果太平洋艦隊は著しく戰鬪力を增加するに至るであらう

米空前の海軍大演習 西海岸で擧行

【サンペトロ二十四日發國通】米國大西洋、太平洋艦隊合同米國海軍大演習は愈々二十三日開始された、所謂米國西海岸防備能力の最大試驗である、海上艦艇百六十七隻、飛行機二百五十機、ハワイのオーフ島が假想的に占領の想定の下に七十日間擧行されるが米海軍空前の大演習である

荒木所長病氣全快

荒木地方事務所長は病氣引籠中の處全快し二十五日より出社した

宮地社會主事榮轉

宮地地方事務所社會主事は二十五日附で八原地方事務所庶務係長に榮轉した、後任は遼陽地方事務所社會主事野村茂理氏と決定近く來任することになつた

日曜學校で水災寄附

市內中央通日本キリスト教會日曜學校では金五圓を北滿水災基金の一部として二十四日地方事務所社會係に届出た

人事往來

▲上村文教部學務司長　二十五日午後四時半大連へ
▲張實業部總長　二十五日午前九時大連へ
▲宇佐美寬爾氏（滿鐵ハルピン事務所長）同上奉天へ
▲粟屋滿鐵本社審査役　二十四日午後七時五十分來京國都ホテルへ
▲太田雅夫氏（チチハル滿鐵事務所長）二十五日午後七時五十分來京國都ホテル投宿の豫定
▲伊澤道雄氏（滿鐵鐵道部員）二十四日午前八時來京ヤマトホテルへ
▲松澤光茂氏　同上

猛將服部將軍入京 部下を思ふてホロリ

コロンバイル攻略に勇名を馳せた服部〇旅長は矢崎參謀を帶同、昨日午後三時半ハルピン經由入京、直ちに軍司令部

新京は暖かいなア、ハイラルに比べるさまるで春のやうだ、ホロンバイルの昨今の氣温は零下四十度前後で

うれしく思ふ、これも北鎭の寒氣に身魂を錬つた健兒ならばこそだ

さ流石の興安嶺越への猛將も

名なコマの聖地カンジユル廟へ政治工作のため四十二里の大雪原を横切つて乘込んだ時の事だ、ラマ僧や信徒

地聖堂に三日滯在強い印象を殘して來たから禮拜日には三千程人が集るさいふから相當實績效果があつたさ

されて居る、蒙古人と漢人は相當仲よくやつて居る、まあ思つた程の事はないよ、まあ中味のある仕事はこれか

印刷が六字 脱落の爲

去る十七日附紙上新京調理師[illegible]れた印[illegible]矢組調理部[illegible]すべきを賄納負大矢組の六文字を脱落し之がため軍部では經理部さ[illegible]

舊正月に際し休刊

舊曆歳末年始に際し滿洲人工場員に給暇のため、二十六日朝刊、二十七日朝夕刊二十八日附朝刊を臨時休刊致しますから御諒承を願ひます

新京ビルデング 湯屋營業も仕り候

而かも男女混浴は勝手次第 新京署に非難の聲

躍進的の新京にまだ古い長春時代と同樣湯屋は僅か三軒しかないので、これが緩和策に新京ビル初め假か作りの下宿等が浴場を『設置』してこれに備へてゐるが金に眼のない經營主と、エロの探求にあくまで忠實な青年達をめぐつてあまり香しからぬ問題が起つてゐる、しかも新京署當局は知つてか知らぬでか不平、不滿をそのまゝ聞き流しか見逃しにしてゐる……問題といふのは新京ビルデイングが間貸しの人々のために昨年暮湯殿を作つた、十日程は無料で入浴せしめたが浴室が故障を起したとの口實で休んだ、折角ビルデイング内に浴室が出來たと喜こんだのもつかの間、また三笠町まで入浴にゆかねばならなくなつた同ビルデーングの人々は甚しく不便を感じ『有料』でもいゝから湯をたてろやうにと頼み込んだ、こうするのは定則だとばかりつてんた經營者は、然らば御一人樣[illegible]錢といふことにして何時の間にか湯屋營業を開始した、果して當局はあの高い家賃を認めたと、湯屋營業を許可してゐるのかしらと不平の聲が高まりつゝある、一方入浴時間を男子午後八時まで、女子午後八時以後と定めたが、百貨店に立働く男店員達が八日までにゝ浴出來る告もなく、自然婦人の浴時間まで延びる、これがむしろ『目的』さなり、同ビルデイグに住む多くの者の友人なごまでが聞きつけおい風呂に入らせろよとやつて來てはあられもない素肌の婦人が入浴中の浴室へ遠慮なく入つて來て、怪しからぬ悅樂にひたる有樣で、男女混浴が平氣で行はれ心ある人々から指彈されてゐる、これまた[illegible]ふてゐるので[illegible]へたつてゐる

聖上陛下 輕微な御風邪

〔東京廿五日發國通〕聖上陛下は廿日朝來輕微な風邪に亘らせられ、非常時の際故大事をとらせ給ひ、御靜養に努めらるゝと拜承する

鐵道を護る 耳と鼻の勇士

シエパード配備に

最近頻々たる滿鐵本線の爆破を警戒防止する爲め從來沿線主要地に於て主に貨物の警備に使用されてゐた耳と鼻の勇士シエパードフンド約六十頭が保線警備の第一線に總動員され『新京』からは未成犬オルター、目下病氣中のチターを殘した猝無慧敏比なきカピテイン、アノー、リゴー、アジヤツクス四頭は既に數日前沿線の守備に就くべく出動南行、配備巡廻の任に當つてゐるが今度の活動は軍、警察の異常な注目を惹いてゐる、尚從來の右警戒犬使用地は新京、開原、奉天撫順、安東、遼陽、周水子、南關嶺、甘井子、三十里堡、營蘭店、全線を通じ十一ヶ所であるが、開原では本年から開始され、新京からカピテインの愛妻エルガが指導犬として招聘されてゐた、このカピテイン、エルガはもともと一對八百五十圓でドイツから直輸入された純シエパードフンド、實に堂々たる優秀犬でその活躍は目覺ましく、新京驛構内は彼等の使用以前月六七十件を下らなかつた穀類其他

年末年始警戒 廿五日で完了

鼻を蠢かす倉田さん

新京署では新年末の警戒と引續き休養の暇もなく舊年末警戒に大童となつてゐたが二十五日が舊曆二十日に相當するのでいよ／＼二十五日をラストとして特別警戒を解除する事となつた、酷寒と雪風にさらされながら街の要所／＼に立つて怪しい通行人を一々檢査してゐる正服巡査、その裡面を私服密行してゐる刑事連と相俟つての不斷の警戒は非常に其の効を奏し、毎年舊年末には特に著しく續出する強盗事件も少く例年に比較にならぬ好成績の回裡に無事終了した、なは特別警戒中に多數の窃盗犯をあげ面目を一新した倉田司法主任は語る

舊年末は新年末に比較して強盗、窃盜事件の發生が多く、從つて警戒も一段の力を添へてゐるのであるが、それでも種々の事件が續發するのが例であつた、然し本年は強盜事件も少く平穩に終始した事は眞に喜ばしい事である、これは本月二日歸順を裝つて入り込んで來た馬賊の一團のある事を探知し、同七日一齊檢擧に移り四名の主犯者を逮捕したのを手初に、多數の一味其他の賊をもいもづる的に檢擧或は遠く追ひ散らし、これによつて從來の搜索方針を捨て新なる方法を採用した結果と思はれる、今後も現狀に鑑み將來の犯行を豫想して系統的搜索方針を立て督勵して大いに活躍するつもりだ

七ツの孃ちやん 憲兵隊へ獻金

盜難被害が今では完全に根絶されてゐる、而してこの訓練教程は聽覺、視覺、嗅覺、感覺の啓發訓練即ち言葉合圖の教育を初程とし體力及び『動作』による高等技術まで鍛形、器具食物を主に置き約六ケ月の過程で十分の成犬になるがそれには係りの人が日夜犬と共に生活して撫育薫陶するのであるが係員以外には絕對になづかず「護れ」「行け」の號令一下忽ち猛然として襲撃にかゝるのである

新京吉野町一丁目三番地材木商高橋寛藏氏令孃ヤス子（七）さんは二十三日憲兵隊本部に出頭し、これは僅かですが兵隊さんにお渡し下さいと金三圓四十錢を屆出た、同隊ではこの意をいれ陸軍省學術技藝獎勵基金として手續をとつた

故宮の寶物を

蔣張合意某國に盜賣

維持會が眞相を全國に聲明

〔北平廿四日發國通〕支那四千年の歷史が創つた東洋文化の精華北平舊皇城に保存せる骨董繪畫等大小數千點巨額に達する寶物の南京遷移問題は舊來河北有志團と中央との間に紛爭を醸けつゝあつたが『最近』時局に狼狽の逼迫せるし南京當局は之が高壓的態度に出て、先般來古物の輪送を行つて居り、既に一部は南京に移されたりと傳へられる折柄、張學良は二十二日夜行特別列車にて數十箱の寶物、總額二百萬元を天津に運び、天津公安局保護の下に佛租界張學良私邸へ搬入した事實あり北平古物保護維持會では古物南運裏面の秘密を暴露する爲昨日全國に聲明書を發して蔣介石及び張學良を糺彈したこれに依ると蔣、張兩名合意の下に日本軍北平進入の際掠奪される怖れありとの理由で民衆を詐り、ひそかに某國石油王に賣却するに決定し、過般實業部長孔祥熙の渡米を機會に賣買契約成立して調印を終り、寶物運送方法をなしたもので、其の『賣價』は一億元以上で、中三分の一で兵器を購入し、他は私腹を肥さんとしたるものであると傳へられ、全國有識階級の反對を受けつゝある

火元が正式 裁判を仰ぐ

男か凍死してゐるを滿洲國人が發見屆出により新京總領事館警察署から係員急行檢證を行つた處右は住所不定町田助七（四七）と判明した

去る十二月四日午前二時頃市内吉野町四丁目藤山旅舘を全燒せしめた火元である同家止宿雜貨小賣人安原勇（二七）は同月二十六日新京總領事館で罰金五十圓を略式命令書を受けたが、さる十三日右罰金五十圓を不服として正式裁判を申出た

內地人凍死

二十五日午前十時頃市內北二條品川洋行裏道路に內地人

吉凶禍福

死亡（二十五日屆出）

△新京露月町二丁目四十九番地馬場崎芳太郎（六十四歲）一月二十九日午前九時死亡

傷病兵南下

〇〇聯隊傷病兵三十名はハルピンから二十五日午後三時三十五分新京着同四時三十分南行の豫定

新富の旭紫

花街

丘越へて行くよ……と歌がはあるが、これは橋を越へて行くよであるが、日本橋を越へてくよである長春が新京となつた今日、北門外に附屬地だといふ劃然たる境界は消へつゝある、花街の消息もその通りであらねばならぬ、と云ふ譯で材料の蒐集に努めたがごゝ、寄りが惡いところが漸く手に入つたのが新富の琵琶藝者旭紫こと本名に眞鍋トミ子福岡のうまれ、五絃琵琶の名人で去年の暮の三十一日に京城から來たもの、前借なぞそんなよけいなことは省いて至極温厚な妓で處女性味を失はぬ純情はさ…誰かさんが大にほめてゐた

兒童號初め愛國機 目醒しい活躍

僞勇軍集團を木ツ葉微塵 北野機は行方不明

〔通遼二十四日國通飯田特派員發〕通遼の西南方六十支里の余糧堡にある僞勇軍討伐のため進撃中の滿洲國警察隊並に自衛團と掩護共力すべき命を受けた『我が』飛行第〇〇〇隊第〇〇隊の村田中尉指揮する愛國機「香川號」「廣島號」及戶田特務曹長指揮の愛國機「兵庫號」「兒童號」の二個編隊の〇機並に第〇〇隊富所中尉の搭乘機及同隊北野大尉の搭乘機は本廿四日午前十時寒氣膚をつんざく中を相前後して通遼根據地を離陸、旭日に銀翼を輝かし見事な編隊振りを見せ乍ら一路目的地余糧堡方面に向ひ塔兒營子に於て二百アルンゴポ西北方村落で約二百、同西南方の無名部落に於て百の僞勇軍集團を發見直ちに爆擊、何れも散々に吹つ飛ばし、十二分の『效果』を奏し北野大尉の搭乘機を除き他は午前十一時凱歌を擧げて無事根據地に歸還した、因に北野大尉機は出發以來四時間を經過するも歸還せぬので僚機〇機は午後二時之が行方搜査に出動した

最惡の場合が豫想され其の安否は至極氣づかはれ、戰友何れも憂色に閉ざされて居る因に同機搭乘の五勇士は左の如し

北野航空兵大尉（操縱爆擊）小林航空兵軍曹（操縱）大谷航空兵軍曹（機關）飯田航空兵伍長（機關）室町航空兵上等兵（機關）

空の五勇士何處

僚機搜索の効も空し

〔通遼廿四日國通飯田特派員發〕開魯の東北方六十支里のハルモト附近に約三千の僞勇軍蟠居しあるためこれが爆擊並に開魯附近の僞勇軍威嚇攻擊の任務を與へられ廿四日午前十時半單機通遼を發した北野大尉以下五名搭乘の〇〇〇機は只今（午後七時半）に至るも歸還しない、此の間、僚機は前後三回に亘り通遼ハルモト開魯間を入念に空中搜索したが遂に地上には北野機の影みだに發見するに至らず空しく引揚げた、北野機の航續時間はせつぐに過ぎたことゝ

引續き搜査

尚本日は既に夜に入つたので空中搜索を中止し人をハルモト、開魯方面に派して地上搜查をなすべく活動を開始した

二十四日午前十一時通遼を出發開魯方面の匪軍爆擊に出動した草野機は午後三時五十分になるも歸還せず空陸を引續き搜査中であるなほ搭乘者は大尉草野甚二、曹長大谷三代吉、軍曹小林清雄、伍長飯田喜男、上等兵室町要之助の諸氏である

李海青軍 闇に乘じ退走

〔通遼廿四日國通飯田特派員發〕廿二三兩日に亘る猛烈な攻擊に全く戰意を失ひした李海青匪軍の一部は地方諸團體の强要もあり、旁々廿四日午前一時黑暗に乘じ、魯城を出で西方に向け遁走したが、尚ほ魯城内には相當數の僞勇軍あり、皇軍空軍が一般良民に危害の及ぶを虞れ、民家の爆擊を控へ居るを奇貨として何れも民家內に潜伏して居る

尚ほ李海青の部下約三千は開魯南方伯舍廟に駐屯してゐるとの情報あり警戒されて居る

開魯の住民 王道政治を慕ひ 通遼へ避難

〔通遼廿四日國通飯田特派員〕開魯附近の住民は我れ先にと續々避難しつゝあるが、彼等は滿洲國治下の地方が王道樂土で人民の生命財產が極めて安全に保障され居る事實を知り商務會長以下有產階級は二十三日以來陸續通遼方面に避難し來りつゝあるが、無產階級者は遠く通遼方面に避難する旅費が無いので致し方無く難を附近の各村落に避けてゐる

攻擊目標に 司令部、兵舍を

〔通遼二十四日發國通飯田特派員發〕開魯城内を中心として雲集する僞勇軍を潰滅すべしとの命令を受け二十二日午前新京から當地（通遼）に前進せる飛行第〇隊主力は二十二日午前十時半無事通遼飛行場に到着、二十二、三日に亘り壯烈なる開魯爆擊を開始した、空中爆擊に使用せる爆彈量は〇トンに上る飛行隊は人家に損害を與ふるを極力警戒し、情報により擊め知悉せる僞勇軍本部及び首魁の司令部並に兵舍のみを攻擊目標として爆擊、之に大成功した、二十四日密偵の齎らせる情報によれば二十二、三兩日の攻擊により李秀庭の本部たる同義和の家屋及び附近の司令部たるその自宅は目茶苦茶に爆擊破壞され、その他僞勇軍使用の兵舍數棟を破壞したことが明かとなつた

學良何柱國に 總攻擊令を下す

〔山海關廿四日發國通〕石河右岸に陣地を布き殘つた學良軍は灤河一帶の配備を完了したものらしく前日學良は何柱國に對して

貴下は灤東に集結した全部隊を引卒して二十六日の舊正月を期し山海關を奪回し失地の不名譽を恢復せよ

と總攻擊令を下したとの事である

遼河地區 掃蕩近し

〔奉天廿四日發國通〕遼河地區匪賊討伐の奉天警備軍の行動は廿三日夜來無電聯絡杜絕し詳細判明せざるも、關隊は何れも沙岸附近の線に進出せるもの如く、大部分の敵は既に西北方に脫走し、包圍には極めて少數の賊が殘るのみで、その掃蕩は一兩日中に終了するものと見らる、尚討伐軍は賊の掃蕩後と雖も治安回復迄現地に駐屯し政治工作に移る豫定である

老北風運命 風前の燈火

于芷山の指揮する滿洲國軍は既に遼河地帶にある匪賊の討伐を開始し着々成功してゐるが二十四日老北風匪の本據王家坨子（牛莊西北方四里）の老北風はその以前に早くも北方に退却し滿洲國軍をしてひ肉の嘆を喞せしめた、一方北鎭にある我警備隊は老北風が二十二日と共に二十四日早朝正午堡（北鎭の北方二十里）に到着し朝食中なるを知り西原大尉は警備隊を率ゐ出發した、蓋し老北風の運命は風前の燈火であらう

段を中心に 馮、吳聯合か

張學良は追っ拂ひ

〔錦州廿四日發國通〕某所着電によれば、安福派の段祺瑞は廿二日南京着蔣介石と會見して抗日政策を打合せたが、天津に現はれた段祺瑞が勒發し收拾出來ぬ事になるので之が防止に張學良を外遊させるか、中央に引上げさせ、段祺瑞を盟主とし閻錫山、馮玉祥、吳佩孚等を打つて一丸とする抗日軍を組織せんとするもので重要視されて居る

熱河討伐を開始し、長城に迫るに蔣介石は日本軍が攻開するに、平津一帶に反張運動が

十五箇師を動員 對日戰軍備を進めん

〔天津廿五日發國通〕蔣、張會合の結果として當地では左の如く一部に於て傳へられて居る、即ち兩者協議の最後的對日計畫は熱河北支一帶において軍事行動を取るに至る時は山西、綏遠軍五箇師、湖北安徽から二個師、東北軍六箇師、商震、宋哲元、龐炳勳軍各一箇師、合計十五師を以つてこれに當らせると

支那飽く迄頑冥 停戰交涉見込なし

〔天津廿五日發國通〕開灤礦務局では山海關事件後秦皇島碇泊の英國軍艦々長と協議し日支停戰運動を催し何柱國に對して再三灤河以東の戰鬪中止方を申込んでゐたが、廿三日秘書を第一軍司令部に派し北寧沿線上の戰鬪回避方を學良に傳達せられたき旨申込んで來た、尙外交部得劉崇傑は過般前線を視察礦務局當局と談したが目下の直停

熱河自衛團 活動

阜新縣にて最近募集した僞勇軍約二千は湯玉麟の下に行く途中縣内自衞團の爲討伐せられ大部分は四散したが一部三四百名の僞は阜新縣長廿二十二日公安隊、自衞團に討伐を命令した、由來熱河各地には有力なる自衞團が存在してゐるが、右の事實より判斷して今後の彼等の活動は注目に値する

匪軍直ちに 擊退さる

熱河の匪軍は各方面とも連日活氣を帶びてゐるが二十四日午前零時朝陽寺に約二百の匪賊が來襲の我部隊と交戰三十分擊退された戰場には死體三名遺棄し我軍には輕傷者一名を出した、來襲の敵は溺占海軍の一部に朝陽寺附近の大刀會匪聯合したものゝ樣であるこの戰鬪で朝陽寺義州間の電線切斷されたるも修理班により直に復舊された

山海關に 謠言頻り

〔山海關廿五日發國通〕二十四日夜を期し何柱國軍大擧襲擊山海關を奪還計畫すとの謠言頻りにて人々は夕刻十時頃より街は往來杜絕し、物凄い沈默の裡に夜は更けて、幸に何事もなく夜は明けたが我軍の警戒は不相變嚴重を極めてゐる

軍資金到着 熱河匪軍活潑

〔新京廿五日發〕北平よりの兵器彈藥軍資金到着と共に熱河匪軍は各方面とも俄然活潑な活動を開始した、二十四日午前零時約二百の兵匪は朝陽寺、義州間の電線を切斷、朝陽寺を襲ひ我部隊の爲め交戰三十分にして敵匪は遺棄死體二を遺して潰走したが我軍輕傷一名を出した、朝陽寺、義州間電信線は修理班の活動によつて直ちに復舊されたが來襲匪は溺占海匪の一部と朝陽寺附近大刀會匪の聯合軍と見らる

中國共產黨 中央委員會

滿洲各地にはびこる中國共產黨關係者は來る廿八日が中國共產黨中央委員會創立記念日に當るので廿日を期して一齊に反日反滿のデモを敢行すべく計畫しつつありとの情報に新京軍警當局は舊正月を前に異常の緊張振りを示し滿洲國警備當局と協力水も洩さぬ警戒網を張ると同時に不逞分子の入滿に鋭い眼を光らせてゐる

凄艶紅涙双（二八九）

鈴木彦次郎作　飛鳥久緒畫

さ怒號しながら、亂軍の間を驅け、拔けてきた輕捷剽悍な勇士。行手にすむらがる時山の姿を見るな、

「おおッ隊長だな觀念しろ！」

云ひざま、血刀をふるつてやにはに、斬り付けた。

「何を！」

時山はツと一歩退いて、危く避けながら、左手をのばし、旗竿で、相手の腕を拂はふとした瞬間！

素早やく、引外して、付け入つた甲子松、敵の左肩口をのぞんで眞撃一閃！

「あ、あつ！」

血しぶき諸共、深手によろめいた時山、思はず、一歩踏はづしたから、たまらない、そのまゝ、崖をすべつて、はるか下なる谷間へ眞ッさかさま！。

甲子松は、愛刀大和守安定の血をふるつて、四方に眼を配りながら、大音聲！

「一條甲子松、奇兵隊長を討ち取つたぞー！」

この叫びは、けだし、最後の勝敗を、はつきり決定した。

長岡勢は、勇氣百倍、これに反して、奇兵隊はたよりに思ふ隊長を討たれては、やつきもりかへした氣勢もくぢけ、たちまち、戰意を失つて、崩れ立つた。

——一方、約の如く、曉闇を衝いて、本院を進發した參謀山縣狂介は、精兵をひつさげて、河を渡り、朝日山の側面をさして、ひたひたと進み寄る途中、早くも、山上に、けたたましい砲聲が、ひびきわたるのを聞き付けたから、急遽、部下を叱咤して、馳け付けたが、その時、既に遲く敗兵は散を亂して、山下に逃るる有樣。

「參謀！殘念でムります、時山隊長は、つひに、敵刄にかゝつて——」

「何ッ、直八が討死したと、——しまつた！好漢、責任を感じて憤死したのだな、直八、ゆるせ！俺がもう一時はやかつたら、むざむざ死なせは、せぬものを！。」

松下村塾以來の心友時山直八の悲報を聞いて山縣狂介は、勝ち誇る長岡勢の堡壘を、はつたと睨めすえながら、悲憤の涙に暮れた。

だが戰機は既に去つた！

參謀は、敗兵をまとめて、空しく、横渡に引あげた。

あだ守る砦のかがり影ふけて夏も身にしむ越の山風

後年、元帥山縣有朋は、北越討伐の回想を詠はれる度に、よく、この詠草を示して、當時の苦衷を物語つた。——

全く、時山直八が、戰死してから以後、山縣參謀の焦慮は實に慘憺たるものであつた。

——朝日山の堅壘は、正面から力攻めしたのでは、到底、拔けない。

——第一、信濃川は、容易に減水せず、いくら、あせつたて、思ふさま、大兵を繰出すことは、先づ不可能だ。

薩摩を初め、西軍に屬する諸藩の部將は、こぞつて、先づ横渡の守りを棄てゝ、戰線を退け、おもむろに、持久の策をとるべきだと、しきりに建議する。

然し、參謀は斷乎として、その説をしりぞけた

——凡庸の敵なら、持久戰もよからう。

だが、相手は、名將河井蒼龍窟が率ひる長岡勢、鬪志に燃えて、虎視耽々、隙をうかがつて、一泡ふかせんものをと意氣込んでゐるではないか！

しかも、一日、手間どれば、それだけ、奧羽越の同盟、愈々鞏固になりゆく、目下の形勢！

寸時も、攻擊の手をゆるめられない場合である。